

令和 8年 1月28日

協議会名: 姫路市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
姫路市	<p>【坊勢コミュニティバス】 運行系統名:坊勢循環 坊勢島内の「サービスセンター前～西ノ浦～サービスセンター前」を巡回運行(右回り循環は、平日13便、土曜7便運行、左回り循環は、平日4便運行)。 ミニバンサイズ車両2台で運行。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ●定期船とコミュニティバスの乗継を考慮したダイヤ改正を実施し、利便性向上に努めている。 ●来訪者への情報発信等のため、ジョルダン、駅すばあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。 	A 計画どおり事業が適切に実施できた。	A <ul style="list-style-type: none"> ●利用者の目標30人/日に対し、実績36.0人/日であった。 ●家島・坊勢コミュニティバス共通で行政支出額の目標14,000千円未満/年に対し、実績12,510千円/年であった。 ●家島・坊勢コミュニティバス共通で収支率の目標13%以上に対し、実績12.6%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ●ダイヤ改正に伴う課題や定期船接続等の影響を検証し、必要に応じてダイヤの再調整等を行う。 ●地域おこし協力隊と連携し、SNSを通じてコミュニティバスの利用方法、コミュニティバスを利用した観光スポットの提案等を行い、利用促進を図る。
姫路市	<p>【家島コミュニティバス】 運行系統名:真浦線1、真浦線2、宮線 家島島内の真浦地区を中心に真浦線(真浦線1はB&G海洋センター下を経由しない便、真浦線2はB&G海洋センター下を経由する便)、宮地区を中心に宮線を運行。 真浦線及び宮線それぞれをミニバンサイズ車両各1台で運行。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運転員連絡会議の開催及び運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ●ダイヤ改正の際には運転員の意見を聞く機会を設け、運行時の状況や利用状況の把握に努めている。 ●来訪者への情報発信のため、ジョルダン、駅すばあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。 ●ラッピング車両を導入したほか、運行を担う地元区会とともに地元住民に利用促進を図った。 ●令和6年10月の家島交流センターのオープンに合わせたルート変更及び同センターと連携した運行を図った。 	A 計画どおり事業が適切に実施できた。	A <ul style="list-style-type: none"> ●利用者の目標35人/日に対し、実績35.5人/日であった。 ●家島・坊勢コミュニティバス共通で行政支出額の目標14,000千円未満に対し、実績12,510千円であった。 ●家島・坊勢コミュニティバス共通で収支率の目標13%以上に対し、実績12.6%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ●運転者の高齢化が進行していることから、引き続き新たな運転者の確保など持続可能な運行に向けて運転者の確保に取り組む。 ●令和7年10月より真浦線2を網手港まで、宮線の一部を日和山まで延伸し、地元住民と観光客の利用促進を図る。 ●令和7年10月より1日の運行便数を集約し、定期船との接続性を高め、利便性の高いコミュニティバスの運用を目指す。 ●地域おこし協力隊と連携し、SNSを通じてコミュニティバスの利用方法、コミュニティバスを利用した観光スポットの提案等を行い、利用促進を図る。
神崎交通(株)	<p>【福崎町・姫路市連携コミュニティバス】 運行系統名:姫路市連携①(通勤便A)、姫路市連携③、③-3、③-4(連携便) 工業団地を経由し、JR福崎駅とJR溝口駅を結ぶ通勤便A、福崎町内の文化センターから姫路市内の香寺・宮脇を経由し、文化センターを結ぶ連携便を運行。 全ての系統をワンボックス車両1台で運行。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光交流センター等の施設に時刻表を配置し、JR播但線利用者を含む施設利用者等に対して周知と利用促進を行った。 ●沿線の自治会長へ利用状況の説明を行った。 ●鉄道や路線バスといった幹線系統のダイヤ改正に合わせて乗り継ぎしやすいダイヤの検討を行った。 	A 計画どおり事業が適切に実施できた。	A <ul style="list-style-type: none"> ●利用者の目標72人/日に対し、実績79人/日であった。 ●利用者1人当たりの行政補助額の目標440円/人未満に対し、実績435円/人であった。 ●収支率の目標20.0%に対し、実績20.7%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域、利用者、関係団体の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ●モビリティ・マネジメントを継続的に実施し、利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 8年 1月28日

協議会名:	姫路市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>①家島・坊勢コミュニティバス 姫路市は兵庫県の南西部、瀬戸内海に面した播磨平野のほぼ中央に位置し、北部の森林丘陵地、中部の市街地、南部の群島を有する面積534km²、人口約52万人の県内第2位の都市である。 北部や群島部での人口減少・少子高齢化の進展が著しく、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。 そこで本市では、「姫路市総合交通計画」を令和3年7月策定し、「にぎわいあふれる都心と魅力ある地域の交流連携を支える交通体系の構築」を基本理念に掲げ、(1)地域ニーズに対応した、安心・快適に移動できる公共交通の整備、(2)多様な交通を選択でき、人とまちをつなぐ交通環境の充実、(3)持続可能な公共交通を地域や多分野で支える仕組みの形成の3点を基本方針として施策推進を図っている。 具体的な施策の一つとして、公共交通空白・不便地域に対し、地域の交通需要に応じた地域公共交通の導入に向けた取り組みを進めることとしている。</p> <p>②福崎町・姫路市連携コミュニティバス(ふくひめ号) 姫路市と福崎町は、平成27年度より地域創生にかかる広域連携の制度である「連携中枢都市圏構想」に取り組んでいる。その一環として圏域住民の生活関連機能サービスを向上させるため地域公共交通の維持確保に向けた取り組みを行っており、姫路市と福崎町が行政の垣根を越えて連携し、公共交通空白・不便地域での移動困難者のニーズに対応するためには、地元自治会や企業とも協力し、買い物や通院、通勤、雇用・就業支援などの課題を解決し、持続可能な移動の仕組みの構築が不可欠である。</p> <p>【運行地域の特徴と基本方針】</p> <p>①家島・坊勢コミュニティバス 離島のためバス・タクシー等の交通事業者がない、全くの公共交通空白地域である。また島内の移動は徒歩や二輪が大半を占めている。 本地域においては高齢化や急傾斜地という地理的要因のため、港から各集落までの公共交通導入を求める声が高まり、定期船発着場である旅客船ターミナルを起点とした地域内フィーダー系統としてコミュニティバス(交通空白地有償運送(旧・市町村運営有償運送))を導入し、運行中である。 地域と行政の協働で運行計画の立案・コミュニティバス運行を行っており、今後も地域と行政が連携し「地域の足」として、また、島内を訪れる人の移動手段として継続的な運行の必要がある。</p> <p>②福崎町・姫路市連携コミュニティバス(ふくひめ号) 姫路市香寺町中寺地区及び船津地区は近くに公共交通機関がない公共交通空白・不便地域である。また、当該地区は高齢化も急速に進んでおり、今後免許返納者が増えることも予想される。 姫路市香寺町中寺地区に隣接する福崎町工業団地では、自動車以外の通勤手段の確保や、鉄道駅からの2次交通の確保、障がい者雇用に伴う移動手段の確保についても重要な課題がある。このため、地域公共交通確保維持改善事業により、福崎町・姫路市連携コミュニティバス(ふくひめ号)路線を確保・維持することで、住民の生活交通手段の存続に加え、地域の価値や魅力の向上に結びつけていく必要がある。</p>

姫路市地域公共交通会議（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

①家島・坊勢コミュニティバス

「姫路市総合交通計画（令和3年7月策定）」において、「にぎわいあふれる都心と魅力ある地域の交流連携を支える交通体系の構築」を基本理念に掲げ、①地域ニーズに対応した、安心・快適に移動できる公共交通の整備、②多様な交通を選択でき、人とまちをつなぐ交通環境の充実、③持続可能な公共交通を地域や多分野で支える仕組みの形成の3点を基本方針として施策推進を図っている。

具体的な施策の一つとして、公共交通空白・不便地域に対し、地域の交通需要に応じた地域公共交通の導入に向けた取り組みを進めることとしている。

○地域特性

- ・家島本島及び坊勢島は、バス及びタクシー事業者が全く無い公共交通空白地域
- ・島内の移動手段は、徒歩や二輪が大半
- ・市内他地域と比べ、人口の減少や高齢化が著しい

○基本方針

- ・高齢化の進行や港から各集落までの交通手段導入を求める声が高まり、地域住民の移動交通手段確保と地域の活性化に資するコミュニティバス（交通空白地有償運送（旧・市町村運営有償運送））を導入し、継続運行中である。

②福崎町・姫路市連携コミュニティバス

姫路市と福崎町は、平成27年度より地域創生に係る広域連携の制度である「連携中枢都市圏構想」に取り組んでいる。その一環として圏域住民の生活関連機能サービスを向上させるため地域公共交通の維持確保に向けた取り組みを行っており、姫路市と福崎町が行政の垣根を越えて連携し、公共交通空白・不便地域での移動困難者のニーズに対応するため、地元自治会や企業とも協力し、買い物や通院、通勤、雇用・就業支援などの課題の解決に向けた取り組みを進めることとしている。

○地域特性

- ・福崎町は、中国縦貫自動車道と播但連絡道路が交差する交通の要衝
- ・北は市川町、南と西は姫路市、東は加西市に隣接
- ・鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー等の公共交通が運行されている

○基本方針

- ・“まちの玄関口”の整備
- ・まちなかの回遊性の向上
- ・郊外におけるバス利便性の向上
- ・町外との連携による交流人口の増加
- ・利用しやすく持続可能な公共交通づくり

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添で添付。

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

○事業の目標値

(坊勢コミュニティバス) 1日あたりの乗車人員：30人

(家島コミュニティバス) 1日あたりの乗車人員：35人

(家島・坊勢コミュニティバス共通) 1年あたりの行政支出額：14,000千円未満
収支率：13%以上

(福崎町・姫路市連携コミュニティバス) 1日あたりの乗車人員：72人

利用者1人あたりの行政補助額：440円/人未満

収支率 20.0%以上

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

①家島・坊勢コミュニティバス概要

	坊勢コミュニティバス	家島コミュニティバス
事業手法	交通空白地有償運送	交通空白地有償運送
運行方法	路線定期運行	路線定期運行
運行事業者 (運行の担い手)	坊勢区会(地元自治会) ※運転員は地元住民	宮区会(地元自治会) ※運転員は地元住民
運行系統 (ルート)	島内巡回ルート	宮地区・真浦地区を中心とした2ルート ※真浦ルートのみ、午前の第3・4便及び 午後の第9・10便、第13～16便を 一部延伸
運行日・便数	月～金曜日：右回り13便 左回り4便 土曜日：7便 (右回りのみ)	月～金曜日：16便 (6～9月の土曜日：6便)

運行開始後も、利用者・地元自治会の意見を踏まえ、ニーズの変化や定期船ダイヤ改正に対応すべく随時運行計画やルートを見直している。

②福崎町・姫路市連携コミュニティバス

事業手法：道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業

運行方法：路線定期運行 運行事業者：神崎交通株式会社

運行系統：通勤便A [上り] (JR福崎駅～工業団地経由～JR溝口駅)

(ルート) 通勤便A [下り] (JR溝口駅～工業団地経由～JR福崎駅)

通勤便B (JR溝口駅～工業団地経由～JR溝口駅)

連携便 (文化センター～香寺・宮脇経由～文化センター)

(文化センター～香寺・宮脇経由～JR溝口駅)

(溝口ニュータウン北～香寺・宮脇経由～文化センター)

運行日・便数：月～金曜日 12便

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業				
地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
坊勢コミュニティバス	姫路市	H26. 10. 1～	フ	運行系統名：坊勢循環 坊勢島内の「サービスセンター前～西ノ浦～サービスセンター前」を巡回運行
家島コミュニティバス	姫路市	H24. 4. 1～	フ	運行系統名：真浦線1、真浦線2、宮線 家島島内の真浦地区を中心に真浦線（B&G海洋センター下を經由しない便は真浦線1、同センターを經由する便は真浦線2）、宮地区を中心に宮線を運行
福崎町・姫路市連携コミュニティバス	福崎町 (姫路市)	R3. 4. 1～	フ	運行系統名：姫路市連携①（通勤便A） 姫路市連携③、③-3、③-4（連携便） 工業団地を經由し、JR福崎駅とJR溝口駅を結ぶ通勤便A、福崎町内の文化センターから姫路市内の香寺・宮脇を經由し、文化センターを結ぶ連携便を運行

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

非補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
坊勢コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会を通じた地元住民への利用促進 ●自治会を通じた運転者の確保 	事業目標の達成
家島コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会を通じた地元住民への利用促進 ●自治会を通じた運転者の確保 ●島内の公共施設の移転や利便性向上をはかるためのルート変更やダイヤ改正の実施 	事業目標の達成
福崎町・姫路市連携コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> ●観光交流センター等の施設に時刻表を配置し利用促進 ●沿線の自治会長への利用状況の説明 ●鉄道や路線バスとの接続を勘案したダイヤ改正の実施 	事業目標の達成

4. 具体的取組に対する評価

【坊勢コミュニティバス】

利用者数の目標 30 人/日に対し、実績 36.0 人/日であり、目標を達成できた。

【家島コミュニティバス】

利用者数の目標 35 人/日に対し、実績 35.5 人/日であり、目標を達成できた。

【家島・坊勢コミュニティバス共通】

行政支出額の目標 14,000 千円未満/年に対し、12,510 千円/年であり、目標を達成できた。

収支率の目標 13%以上に対し、実績 12.6%であり、目標をわずかに下回った。

【福崎町・姫路市連携コミュニティバス】

利用者数の目標 72 人/日に対し、実績 79 人/日であり、目標を達成できた。

利用者 1 人あたりの行政の補助額の目標 440 円/人未満に対し、実績 435 円/人であり、目標を達成できた。

収支率の目標 20.0%に対し、実績 20.7%であり、目標を達成できた。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
<p>①家島・坊勢コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成できているが、人口の減少が本土地域と比べ著しいため、引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用促進活動を継続していく必要がある。 ・家島地域においては運転者の高齢化が進行している。 <p>②福崎町・姫路市連携コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成できており、(昨年) 課題としていた連携便の利用は増加したものの、通勤便と比べて利用者は少ない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への聞き取りや運転員連絡会議等を通じて、利用者ニーズの把握に努め、利用促進に繋がるルートや運行ダイヤを検討していく。 ・新たな利用者の獲得に向け、モビリティマネジメント等の利用促進活動にも取り組んでいく。 ・令和 7 年 10 月より家島コミバスの運行便数を集約し、定期船への接続性を高めている。また、ダイヤ改正に合わせて日和山や網手港へ延伸し、利用促進を図っている。 ・引き続き運行を担う地元区会と連携し新たな運転者の確保など持続可能な運行に向けて取り組んでいく。 ・地域、利用者、関係団体の意見に今後も柔軟に対応し、利便性の高い運行形態を確立していく。 ・新たな利用者の獲得に向け、モビリティマネジメント等の利用促進活動にも取り組んでいく。

姫路市地域公共交通会議（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況		
昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
<p>【家島・坊勢コミュニティバス】</p> <p>目標・効果について、達成できなかったところはあるものの、事業実施の適切性については評価できる。</p> <p>今後も、利用状況の把握・分析により、ニーズに対応した運行内容の見直しに取り組むことで更なる利用者の増加につなげ、また、運転者の確保にも取り組むことで持続可能な公共交通が構築されることを期待する。</p>	<p>（坊勢地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ● 定期船とコミュニティバスの乗継を考慮したダイヤ改正を実施し、利便性向上に努めている。 ● 来訪者への情報発信のため、ジョルダン、駅すぱあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ● ダイヤ改正に伴う課題や定期船接続等の影響を検証し、必要に応じてダイヤの再調整等を行う。 ● 地域おこし協力隊と連携し、SNSを通じてコミュニティバスの利用方法、コミュニティバスを利用した観光スポットの提案等を行い、利用促進を図る。
	<p>（家島地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転員連絡会議の開催及び運行管理者への聞き取り等連絡を密にし、利用者ともコミュニケーションを図っている。 ● ダイヤ改正の際には運転員の意見を聞く機会を設け、運行時の状況や利用状況の把握に努めている。 ● 来訪者への情報発信のため、ジョルダン、駅すぱあと、ナビタイムへの情報提供を行っている。 ● ラッピング車両を導入したほか、運行を担う地元区会とともに地元住民に利用促進を図った。 ● 令和6年10月の家島交流センターのオープンに合わせたルート変更及び同センターと連携した運行を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・利用者の意見に今後も柔軟に対応し、持続性の高い運行見直しを図る。 ● 運転者の高齢化が進行していることから、引き続き新たな運転者の確保など持続可能な運行に向けて運転者の確保に取り組む。 ● 令和7年10月より真浦線2を網手港まで、宮線の一部を日和山まで延伸し、地元住民と観光客の利用促進を図る ● 令和7年10月より1日の運行便数を集約し、定期船との接続性を高め、利便性の高いコミュニティバスの運用を目指す。 ● 地域おこし協力隊と連携し、SNSを通じてコミュニティバスの利用方法、コミュニティバスを利用した観光スポットの提案等を行い、利用促進を図る。

<p>【福崎町・姫路市連携コミュニティバス】</p> <p>適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。</p> <p>今後も、地域、利用者、関係団体と対話しつつ、ニーズに対応した運行内容の見直しに取り組み、また、モビリティマネジメント等の利用促進活動に取り組み、利用者の増加につなげ、持続可能な公共交通が構築されることを期待する。</p>	<p>(福崎町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センター等の施設に時刻表を配置し、JR 播但線利用者を含む施設利用者等に対して周知と利用促進を行った。 ・沿線の自治会長に低迷している連携便の利用状況について説明を行った。 ・鉄道や路線バスといった幹線系統のダイヤ改正に合わせて乗り継ぎしやすいダイヤの検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域、利用者、関係団体の意見に今後も柔軟に対応し、利便性の高い運行形態を確立していく。 ● 新たな利用者の獲得に向け、モビリティマネジメント等の利用促進活動にも取り組んでいく。
--	---	---

2. アピールポイント、特に工夫した点など

①家島・坊勢コミュニティバス

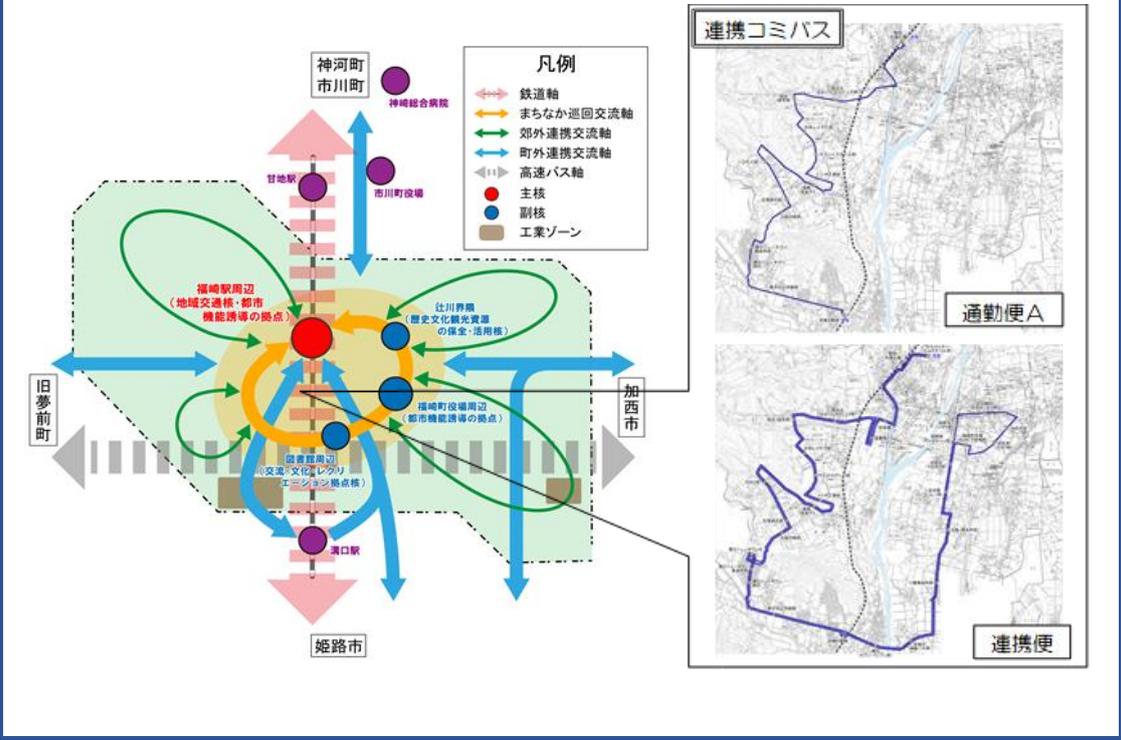
- 地域との協働により、運行計画を立案し、運行についても行政と自治会で連携して実施している。
- 自治会が運行を担い、地域住民が運転しているため、利用者との距離が近く、地域に密着した運行を行っている。また、自治会から地域住民へ直接運行情報を提供するなど、地域による自主的な取り組みも行われている。
- 定期船との接続時間を考慮し、円滑な乗継が出来るよう調整するため、運行便数の変更とダイヤ改正を実施している。
- 住民や観光客の利便性向上のために一部ルートへの延伸を実施している。

②福崎町・姫路市連携コミュニティバス

- 鉄道及び路線バスとのダイヤ接続を維持することで利便性の向上を図っている。
- 公共交通総合時刻表を作成・配布し、利用促進を行っている。
- 工業団地協議会、沿線自治会等との意見交換を実施し、情報共有を行うとともに、運行ダイヤ及びルートへの検討など、連携して運行継続に向けて取り組んでいる。
- 利用が低迷する停留所には、沿線の自治会長に説明を行い、利用促進を行っている。

公共交通ネットワークのイメージ図

福崎町・姫路市連携コミュニティバス



至 西島

至 家島、姫路港

坊勢コミュニティバス運行ルート図
(坊勢循環系統)

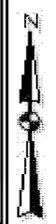
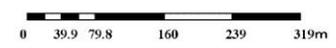
右回り循環 1~13 便 (月~金)
 1~7 便 (土)
 左回り循環 1~4 便 (月~金)

循環 5.9 km

奈座港旅客船ターミナル

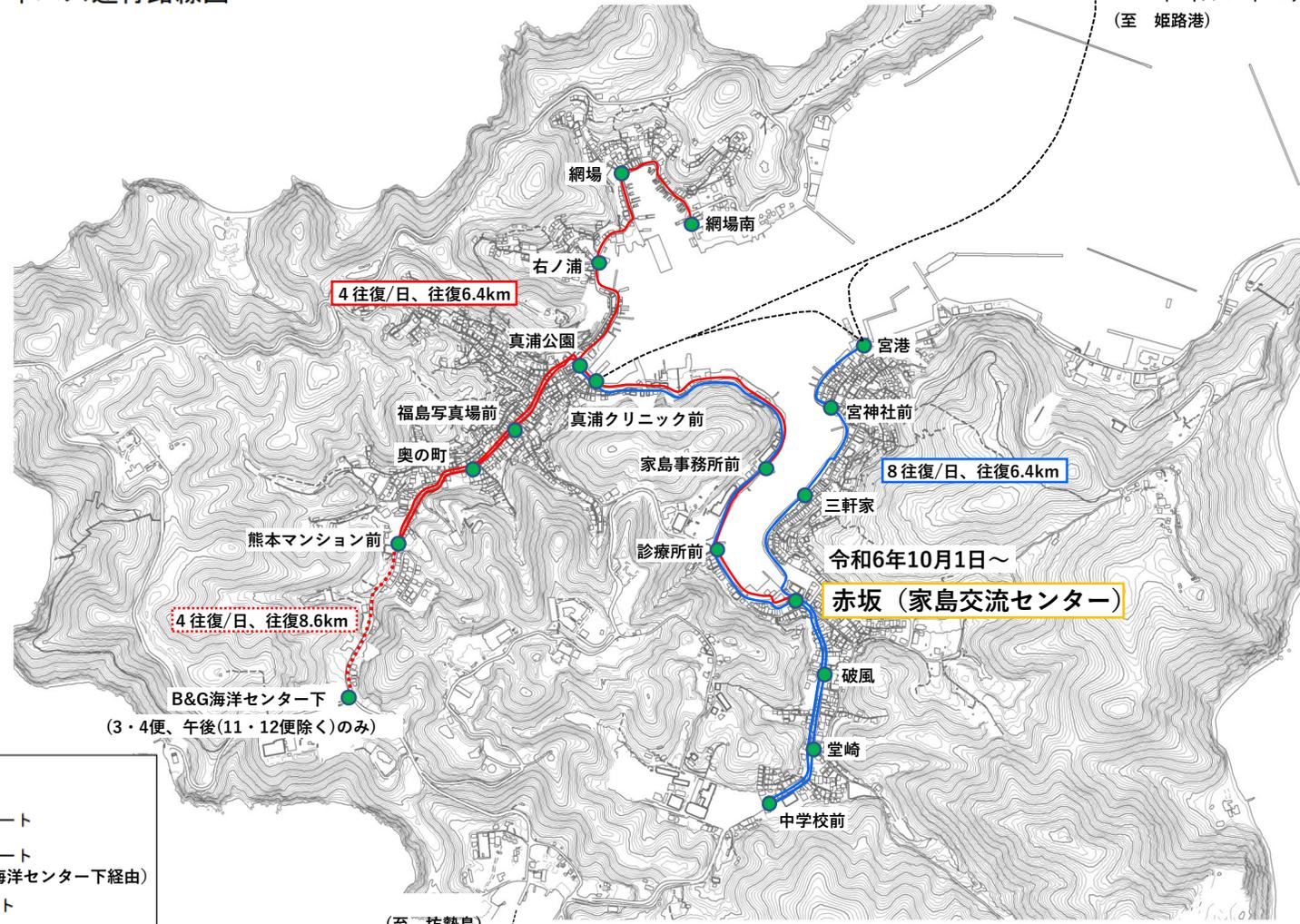
凡例

- バス運行ルート
- バス停留所
- - - 航路
- ★ ターミナル (港)



家島コミュニティバス運行路線図

令和6年9月1日～
(至 姫路港)



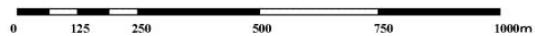
- 凡 例
- 真浦ルート
 - ⋯ 真浦ルート (B&G海洋センター下経由)
 - 宮ルート
 - 停留所

B&G海洋センター下
(3・4便、午後(11・12便除く)のみ)

(至 坊勢島)

令和6年10月1日～
赤坂 (家島交流センター)

縮尺 1 : 10000



申請者と補助金の受け入れ先が異なる理由書

私ども姫路市地域公共交通会議（以下、「交通会議」という。）は、正司 健一を会長とし、市長の附属機関として地域の需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議及び調整するため、国土交通省や兵庫県及び警察、運行事業者等を構成員として組織しております。

交通会議が掌握する事項については、姫路市における生活交通の確保に関する枠組みづくりその他生活交通のあり方全般に関することや、具体的な路線に係る生活交通の確保に関する計画の策定についての調整及び決定に関すること等を担い、市が運行するコミュニティバス運行等の決定機関です。

従いまして、市長の附属機関である交通会議は財務会計行為を行う権限を有せず、契約や支出等庶務は事務局である姫路市交通計画部地域公共交通課が行っているため、補助申請者と補助金の受け入れ先が異なるものとして整理しています。

姫路市地域公共交通会議
会長 正司 健一

家島地域コミュニティバス 利用実績

資料2-参考資料①

令和4年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	20	19	24	22	22	20	20	19	20	17	19	22	244
乗車人員(人/月)	927	851	989	922	919	896	858	808	795	578	695	783	10,021
宮ルート	400	351	402	394	382	353	353	336	331	220	282	313	4,117
真浦ルート	527	500	587	528	537	543	505	472	464	358	413	470	5,904
日平均乗車人員(人/日)	46.4	44.8	41.2	41.9	41.8	44.8	42.9	42.5	39.8	34.0	36.6	35.6	41.1

※ 6~9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。

令和5年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	20	20	24	22	21	22	21	19	20	18	19	20	246
乗車人員(人/月)	789	770	796	841	719	775	877	697	697	649	696	638	8,944
宮ルート	344	301	344	375	293	343	384	243	265	256	263	251	3,662
真浦ルート	445	469	452	466	426	432	493	454	432	393	433	387	5,282
日平均乗車人員(人/日)	39.5	38.5	33.2	38.2	34.2	35.2	41.8	36.7	34.9	36.1	36.6	31.9	36.4

※ 6~9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。

令和6年度実績

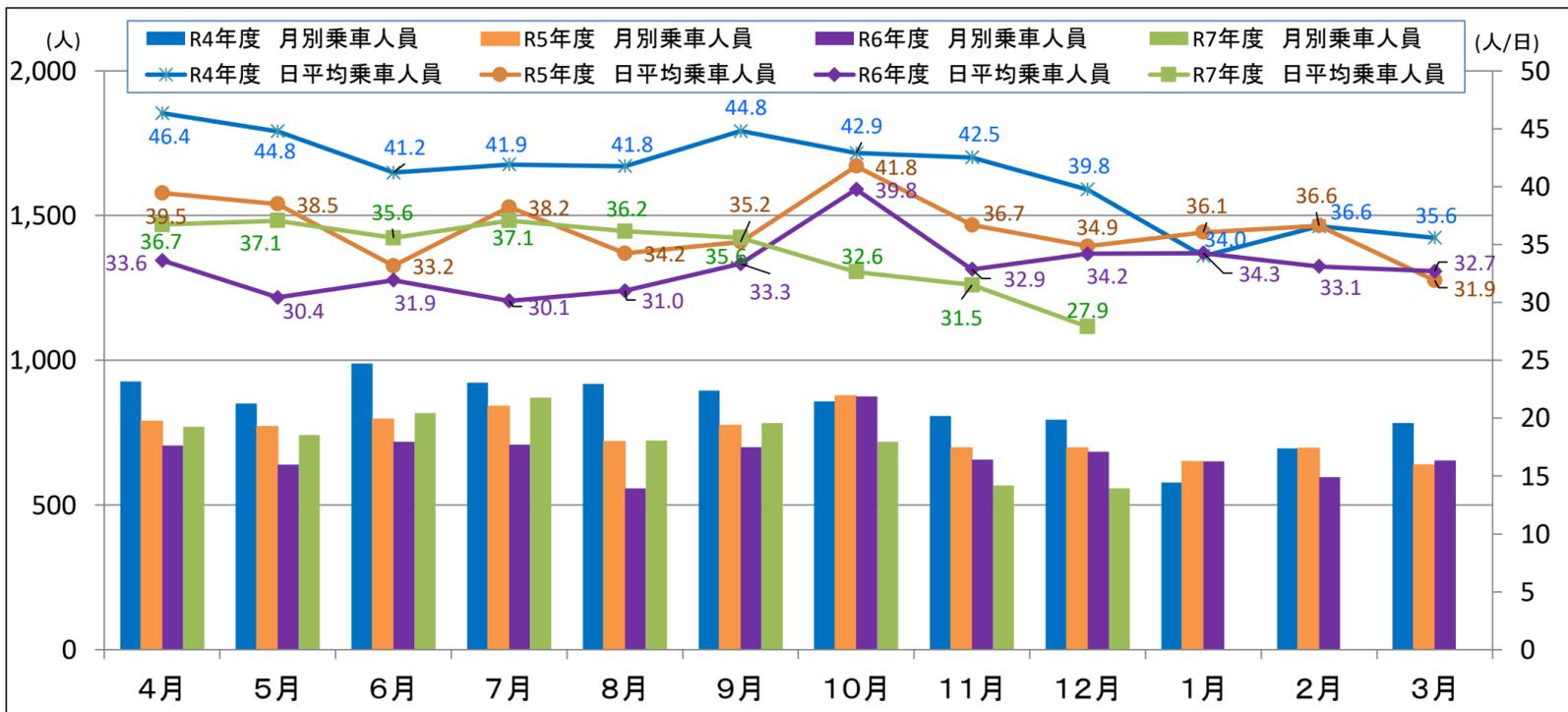
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	21	21	22.5	23.5	18	21	22	20	20	19	18	20	246
乗車人員(人/月)	706	639	718	708	558	700	875	657	684	651	596	654	8,146
宮ルート	299	268	285	327	235	293	386	303	307	290	235	264	3,492
真浦ルート	407	371	433	381	323	407	489	354	377	361	361	390	4,654
日平均乗車人員(人/日)	33.6	30.4	31.9	30.1	31.0	33.3	39.8	32.9	34.2	34.3	33.1	32.7	33.1

※ 6~9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。

令和7年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	21	20	23	23.5	20	22	22	18	20				189.5
乗車人員(人/月)	771	741	818	871	723	783	718	567	558				6,550
宮ルート	326	327	379	417	331	394	302	220	235				2,931
真浦ルート	445	414	439	454	392	389	416	347	323				3,619
日平均乗車人員(人/日)	36.7	37.1	35.6	37.1	36.2	35.6	32.6	31.5	27.9				34.6

※ 6~9月の土曜日運行の日数カウントは0.5日としてカウントしています。



坊勢地域コミュニティバス 利用実績

令和4年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	22.5	21	24	22.5	22	20	22.5	21	22	19	20.5	24	261
乗車人員(人/月)	954	887	990	1,029	924	904	1,065	961	906	722	833	1,007	11,182
右回り	790	716	766	812	708	719	791	740	663	533	634	755	8,627
左回り	164	171	224	217	216	185	274	221	243	189	199	252	2,555
日平均乗車人員(人/日)	42.4	42.2	41.3	45.7	42.0	45.2	47.3	45.8	41.2	38.0	40.6	42.0	42.8

令和5年度実績

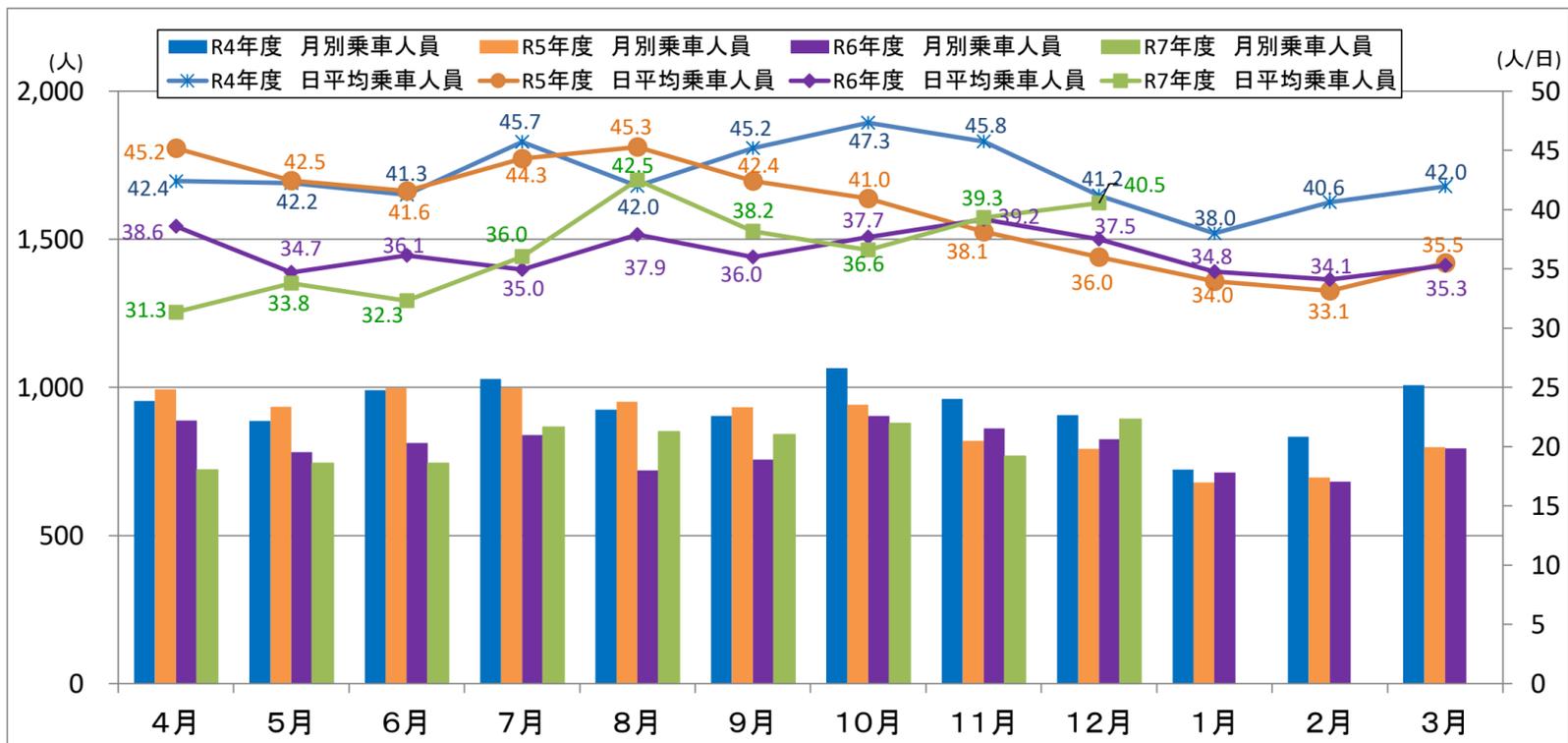
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	22	22	24	22.5	21	22	23	21.5	22	20	21	22.5	263.5
乗車人員(人/月)	994	934	998	997	951	933	942	820	792	679	696	799	10,535
右回り	741	703	754	752	721	702	680	617	635	539	563	650	8,057
左回り	253	231	244	245	230	231	262	203	157	140	133	149	2,478
日平均乗車人員(人/日)	45.2	42.5	41.6	44.3	45.3	42.4	41.0	38.1	36.0	34.0	33.1	35.5	40.0

令和6年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	23	22.5	22.5	24	19	21	24	22	22	20.5	20	22.5	263
乗車人員(人/月)	888	781	813	839	720	756	904	862	825	713	682	794	9,577
右回り	690	614	637	640	548	592	738	683	664	576	562	637	7,581
左回り	198	167	176	199	172	164	166	179	161	137	120	157	1,996
日平均乗車人員(人/日)	38.6	34.7	36.1	35.0	37.9	36.0	37.7	39.2	37.5	34.8	34.1	35.3	36.4

令和7年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	23	22	23	24	20	22	24	19.5	22				199.5
乗車人員(人/月)	721	743	743	865	850	840	878	767	892				7,299
右回り	567	600	579	661	664	655	661	606	701				5,694
左回り	154	143	164	204	186	185	217	161	191				1,605
日平均乗車人員(人/日)	31.3	33.8	32.3	36.0	42.5	38.2	36.6	39.3	40.5				36.6



福崎町・姫路市連携コミュニティバス 利用実績

R3.4.1
本格運行開始

令和4年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	20	19	22	20	22	20	20	20	22	19	19	22	245
乗車人員(人/月)	1,437	1,427	1,716	1,948	1,902	1,941	1,704	1,817	1,878	1,773	1,748	1,782	21,073
日平均乗車人員(人/日)	71.9	75.1	78.0	97.4	86.5	97.1	85.2	90.9	85.4	93.3	92.0	81.0	86.0

令和5年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	20	20	22	20	22	20	21	20	21	19	19	20	244
乗車人員(人/月)	1,782	1,644	1,784	1,776	1,747	1,793	1,731	1,802	1,734	1,346	1,564	1,670	20,373
日平均乗車人員(人/日)	89.1	82.2	81.1	88.8	79.4	89.7	82.4	90.1	82.6	70.8	82.3	83.5	83.5

令和6年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	21	21	20	22	21	19	22	20	21	19	18	20	244
乗車人員(人/月)	1,837	1,960	1,869	2,154	1,906	2,053	2,269	1,950	1,834	1,791	1,504	1,717	22,844
日平均乗車人員(人/日)	87.5	93.3	93.5	97.9	90.8	108.1	103.1	97.5	87.3	94.3	83.6	85.9	93.6

令和7年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日(日数)	21	20	21	22	20	20	22	18	22				186
乗車人員(人/月)	1,885	2,059	2,113	2,551	2,054	2,486	2,351	1,861	1,957				19,317
日平均乗車人員(人/日)	89.8	103.0	100.6	116.0	102.7	124.3	106.9	103.4	89.0				103.9

